

令和4年8月2日

西脇市長 片山象三様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 平田 富士男

西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果について

令和4年7月14日に開催した本審議会のまちづくり活動審査部会において審査したみだしのことについて、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市まちづくり実践補助金交付規程第7条第3項に基づき、本審議会の意見として提出します。

記

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	総務部会	799,080	124,540	50
	文化部会	693,000	223,750	25・50
	体育部会	321,000	68,500	25・50
	環境保全部会	229,200	124,600	50・100
	事業運営委員会	91,000	40,600	50
	事務局	136,700	16,010	50
小計		2,269,980	598,000	
西脇区まちづくり委員会	環境部会	350,100	268,600	50・100
	生活情報部会	138,000	118,000	50・100
	地区整備部会	368,203	204,101	50・100
	事務局	413,500	127,799	25・50
	川下神社夏祭	217,000	108,500	50
小計		1,190,782	610,000	

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
よいとこちがうか 日野の里推進委員 会	農業体験交流	30,000	25,000	50・100
	日野っ子見守り隊	20,000	10,000	50
	ふれあいフェスティバル	250,000	42,500	50
	桜保全事業	155,000	75,000	50・100
	安心安全のまちづくり	5,000	2,500	50
	青少年健全育成講演会	200,000	100,000	50
	腰痛予防教室	5,000	1,000	50
	美化作業	20,000	8,500	50
	遥拝登山	50,000	6,000	50
	運営費	65,000	32,500	50
小計		800,000	303,000	
重春まちづくり協 議会	頼政まつり	111,675	53,044	25・50
	景観づくり	29,000	29,000	100
	矢筈山の整備	50,000	50,000	100
	自然の恵み体感	10,665	8,165	50・100
	広報発行	60,000	30,000	50
	事務費	13,660	4,791	50
小計		275,000	175,000	

団体名	事業名	事業費 (円)	補助金額 (円)	補助率 (%)
野村地区まちづくり推進協議会	まちづくり推進	700,000	212,000	25・50
	文化祭	188,000	32,500	50
	秋祭り	654,000	70,000	50
	サークル活動	65,000	20,000	25・50
	長寿いきいき費	182,000	91,000	50
	広報費	535,000	267,500	50
	花いっぱい	50,000	45,000	50・100
	イベント	240,000	120,000	50
小計		2,606,000	858,000	
合計		7,141,762	2,544,000	

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙補助充当表のとおりとする。

令和4年度 西脇市地区まちづくり実践補助事業審査に係る審査部会意見一覧

団体名	意見
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 西脇区まちづくり委員会との統合について、取組を進めていただきたい。
西脇区まちづくり委員会	<ul style="list-style-type: none"> 西脇地区コミュニティ活動推進協議会との統合について、取組を進めていただきたい。
よいとこちがうか日野の里推進委員会	特になし
重春まちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な組織運営に向け、活動に参画される方を増やしていくとともに、後継者の育成など組織体制の強化を検討いただきたい。
野村地区まちづくり推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な組織運営に向け、活動に参画される方を増やしていくとともに、後継者の育成など組織体制の強化を検討いただきたい。

令和4年度 西脇市地区まちづくり実践補助事業 企画概要一覧表

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
<p>【団体名】 西脇地区コミュニティ活動推進協議会</p> <p>【事業名】 西脇地区コミュニティ活動推進事業</p> <p>【実施期間】 R4.4.1～R5.3.31</p> <p>【事業費】 2,269,980円</p> <p>【交付要望額】 598,000円</p>	<p>区民によるコミュニティ活動を推進し、新しい地域的な連帯感に支えられ、近隣社会をつくるために、コミュニティ活動を展開する。</p>	<p>①総務部会 ・コミセンだよりの発行(年3回) ・コミセンかわら版の発行(年1回) ・コミセンバスツアー(11月)</p> <p>②文化部会 ・コミセンまつり(10月) ・区民カラオケ大会(2月) ・クリスマスリース教室(1回)、料理教室(3回)</p> <p>③体育部会 ・グラウンドゴルフ大会(11月) ・うきうきのびのび健康体操</p> <p>④環境保全部会 ・イルミネーション電飾(11月) ・花のあるまちづくり ・とんど焼き(1月)</p> <p>⑤事業運営委員会 ・精霊流し(8月)</p>	<p>【事業効果】 コミュニティ活動の展開により、地域内の住民相互の交流を深めることができる。「とんど焼き」など、日本の伝統行事を実施することで、若い世代に引き継ぐことができるとともに、世代間交流の場ともなる。 また、高齢化率が市内ワースト1位の地区であることから、グラウンドゴルフ大会、うきうきのびのび健康体操を通じ、区民の健康づくりや介護予防の一助となり得る。</p> <p>【今後の展開】 文化・体育及びレクリエーション活動のますますの充実と明るい地域づくりをおこなう。</p>	<p>花のある街づくり事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、花苗代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 西脇区まちづくり委員会</p> <p>【事業名】 西脇区まちづくり計画実践活動事業</p> <p>【実施期間】 R4.4.1～R5.3.31</p> <p>【事業費】 1,486,803円</p> <p>【交付要望額】 827,000円</p>	<p>自分たちの住む地区を少しでも良くしていくために策定した西脇区まちづくり計画の実現に向け、小さなことでもできることから実践をしていく。そして、活動を通じて、希薄化するコミュニティの再生と安全で安心して住めるまちづくりを目指す。</p>	<p>①全体会 ・童子山公園、コミセンひろば整備など</p> <p>②地区整備部会 ・古建物の由来看板の補修(観音堂案内看板) ・カレンダーの作成 ・手作りクリスマスツリー ・防災訓練 ・地域視察研修</p> <p>③生活・情報部会 ・あいさつ運動 ・しばざくら花壇の維持管理</p> <p>④環境部会 ・童子山わらべ滝周辺整備、花植え ・童子山スケッチ ・犬のフン、たばこのポイ捨て対策</p> <p>⑤川下神社夏祭り</p>	<p>【事業効果】 事業全体を通じて、小さなことでもできることから実施していくことで、「自分たちのまちは自分たちの手でよくしていく」という自立の精神と協働の中でのコミュニティの重要性を育むことができる。</p> <p>【今後の展開】 まちづくり計画の実現に向け、できることから少しずつ進めていくことで、区民一人ひとりがまちづくりに対しての達成感や充実感などを共有できることを目標として活動を進める。</p>	<p>童子山公園整備に関しては、市の財産である童子山を区民の手で美しくすることにより、区民をはじめ市民に身近に感じてもらい、自然に触れられる場・憩いの場・安らぎの場になることを目指している。市のシンボルとも言える童子山整備に関する経費については2分の1を超えての補助金で賄えるよう要望する。 また、コミセンひろば整備事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、花苗代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 よいとちがうか日野の里推進委員会</p> <p>【事業名】 よいとちがうか日野の里推進委員会事業</p> <p>【実施期間】 R4.4.1～R5.3.31</p> <p>【事業費】 800,000円</p> <p>【交付要望額】 303,000円</p>	<p>日野地区区長会をはじめ、日野地区内の多様な団体、グループ等が連携・協力し、日野地区住民の誰もが安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進するため、必要な事業を実施する。</p>	<p>①農業体験交流 日野小学校の児童を対象に、農業体験事業を実施</p> <p>②日野の里ふれあいフェスティバル(11月) コミセン日野地区会館で活動する団体・グループを中心に、書、絵画等の作品展や舞台発表、人権講演会等を開催</p> <p>③桜保全事業 日野地区のシンボルである「日野の郷地蔵一本桜」周辺の草刈保全作業及び「桜まつり」の開催</p> <p>④まちの美化清掃活動 ゴミ拾い等の清掃活動を行い、まちを美しく保つ取組</p> <p>⑤元旦遥拝登山(1月) 日野坂本線の峠にて初日の出を拝する その他、日野っ子みまもり隊等の実施</p>	<p>【事業効果】 地区内の各種団体が連携・協力して活動することにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が広がることにより地域自治の推進が期待できる。</p> <p>【今後の展開】 地域のまちづくり活動において、コミュニティビジネス的な手法を用いることにより、持続可能な活動を展開する。</p>	<p>農業体験事業については、児童への食育として、必要な事業であり、各種苗代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。 また、地蔵一本桜の整備事業については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、肥料代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>

令和4年度 西脇市地区まちづくり実践補助事業 企画概要一覧表

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
<p>【団体名】 重春まちづくり協議会</p> <p>【事業名】 重春まちづくり事業</p> <p>【実施期間】 R4.4.1～R5.3.31</p> <p>【事業費】 275,000円</p> <p>【交付要望額】 175,000円</p>	<p>重春地区は、地域が南部と北部に分かれており、その特質も南部は農業地区、北部は都市部と異なっている。従って、これらを融和することを「まちづくり事業」の根幹として諸事業の推進を図る。</p> <p>本地区は自然豊かな緑の多い都市化が進む地域であり、新しく住民になられた方々に「地区の良さを知っていただくこと」を目的に、地区にシンボルとして「矢筈山と頼政祭を主とする長明寺」を事業の中心として進めている。</p> <p>本地区は、山に囲まれその中を加古川・杉原川・野間川が流れ、南部には多くの農地が広がっている。自然豊かで多くの動植物が生育している。地域の方に自然の恵みを体感してもらえるような事業にも取り組む。</p>	<p>①頼政まつり・歴史ハイキング 3年ぶりに実施し、世の安寧を祈念し、頼政公の墓参、獅子王の奉供、また礼射・よさこい踊りを実施</p> <p>②景観づくり 地区内のコスモス畑の整備</p> <p>③矢筈山の整備 登山道の整備</p> <p>④自然の恵み体感 サツマイモ等の収穫体験</p> <p>⑤広報発行 重春地区の情報を広く知っていただくための「広報紙」を発行</p>	<p>【事業の効果】 重春地区内の方々に、「地域の良さ」を知っていただくとともに、これらの事業を実施することにより「親睦と連帯の絆」が生まれる。 他地区の方々にも重春地区の良さを知っていただけたら考える。</p> <p>【今後の展開】 過去43回と歴史を刻んできた頼政祭に協力して、地域住民に歴史を知ってもらい、交流の場が広がることを望んでいる。 矢筈山の登山者も増えて、遠くからも多く来られるようになり、重春地区のみならず、西脇市の名所として維持や管理に努めていきたい。 重春の生物にやさしい豊かな土地で、花をいっぱい咲かせ・野菜を収穫して、自然の恵みを体感したい。</p>	<p>地域の歴史的資産である矢筈山の登山道の整備に必要な資材の原材料費及び重春の豊かな自然を体感するための事業(景観づくり及び自然の恵み体感)の原材料費については、補助率2分の1を超えた補助を要望する。</p>
<p>【団体名】 野村地区まちづくり推進協議会</p> <p>【事業名】 令和4年度野村地区まちづくり事業</p> <p>【実施期間】 R4.4.1～R5.3.31</p> <p>【事業費】 2,606,000円</p> <p>【交付要望額】 858,000円</p>	<p>新まちづくり計画2020である住みよいまちづくりに取り組むため短期的には次の事業を実施する。</p> <p>文化祭、秋まつり、夏まつり、8つのサークル活動、敬老会、いきいきサロン、防災訓練、西脇市駅・野村公園などに花植えの花いっぱい運動など</p>	<p>①まちづくり推進 まちづくり活動に関する消耗品費、通信運搬費、保険代等</p> <p>②文化祭 みらいえでの文化祭の開催</p> <p>③秋まつり 秋まつりでの住民の交流の推進</p> <p>④サークル活動 詩吟、パソコン勉強会、気功、木工クラブ、毛筆サークル、野々華の会、茶道教室、カラオケ</p> <p>⑤長寿いきいき 野村地区のご高齢者に対する敬老会(いきいきサロン)</p> <p>⑥広報費 年4回(約1万部発行)する広報紙</p> <p>⑦花いっぱい 西脇市駅、野村公園などに植栽</p> <p>⑧イベント事業 西脇市駅前イルミネーション装飾</p>	<p>【事業効果】 各種事業の実施により、住民同士の連帯感と協働意識の高揚が図れるとともに、各種団体との協働やボランティア活動によって世代間を超えた交流が図れ、親睦と調和が生まれる。また、コミュニケーションが良くなることで地域住民がつながり、野村地区の今後の展望を考える際に、様々な意見を反映し、話し合いがしやすくなる。 また、一昨年に策定した第2次まちづくり計画が住みよい野村の活動方針となっている。</p> <p>【今後の展開】 野村地区まちづくり推進協議会の委員が、中心的・リーダー的な役割を果たし、活動推進組織としていく。任期が終了した後も、事業は継承するため前委員と連携し、協働する。 事業を行う者が、楽しく喜んで参加活動できるように自由に話し合える会議(場)をつくる。既存の女性の会、民生委員、公民館役員、子ども会などと整合性をとり、展開し、野村住民のまちづくりへの参画を促進していく。</p>	<p>花いっぱい事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、苗代、肥料代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>